



薬学ゼミナール生涯学習センターと筑波大学 前野哲博 先生が設計する

薬剤師人生を成功させるための短期集中ゼミ 「Ph2030プログラム」開講！

薬学ゼミナール生涯学習センターと筑波大学 前野哲博 先生が研修設計し、6 か月間に及ぶゼミ型の集中講座「Ph2030 プログラム」が開講することになりました。このゼミでは、2030 年までに必要な、薬剤師の普遍的かつ本質的なスキルを学習していきます。

最高の学習環境を用意

筑波大学と薬ゼミの医師・薬剤師が
完全監修したプログラム

少数制のため質の高い
学習コミュニティ

臨床推論（頭痛、風邪、腹痛、動悸など）
検査所見の解析などが全て学べる

● 反転学習で確実に知識を定着します

アウトプットを重視したプログラムで、現場での応用がすぐに可能。

また、Ph2030 ゼミ専任メンターを配置し、プログラム以外での質問対応などのきめ細かいサポートを行います。

● 薬剤師の領域を広げ、医師の思考、マネジメントを体系的に学べます

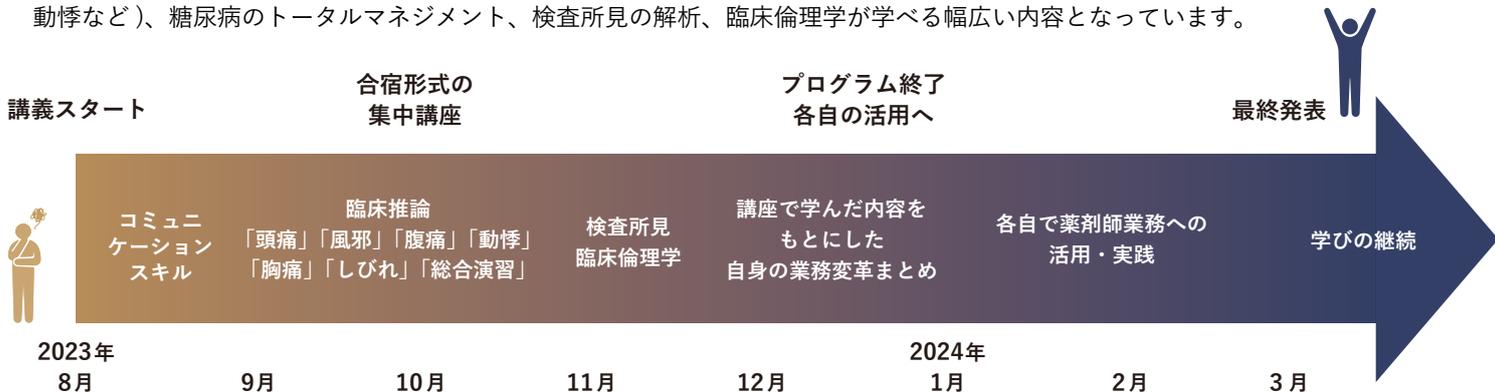
医師との共通言語を学ぶことで、お互いにとって適切な提案ができるようになります。そのため、講座は医療の専門知識だけでなく、コミュニケーションや問題解決のための志向などが学べるプログラムとなっています。

● 学び続ける力を手に入れることができます

事前学習、ディスカッションを交互に繰り返すことで、薬学知識の習得はもちろん、ゼミ卒業後も活用できる「勉強をする習慣」を身につけることができます。

Ph2030プログラムの流れ

Ph2030プログラムは、医師たちとの共通の言語や思考を学習することで薬剤師の視野を広げ、視座を高めることを目的としています。基礎的なスキルとして、プレゼンテーション、コミュニケーションの向上、専門的なスキルとして、臨床推論（頭痛、風邪、腹痛、動悸など）、糖尿病のトータルマネジメント、検査所見の解析、臨床倫理学が学べる幅広い内容となっています。



業界で活躍する医師・薬剤師の講師陣

筑波大学 医学医療系
地域医療教育学教授／附属病院 総合診療科
前野 哲博 先生

筑波大学 医学医療系
地域総合診療医学 准教授／附属病院 総合診療科
吉本 尚 先生

ファシリテーター
前田 紗代子

ファシリテーター
徳田 和也

Ph2030プログラム詳細

	日程		プログラム		
	日付	曜日	時間・形式	内容	概要
1	8月27日	日	13:00~16:00 東京会場	①マインドセット・ゼミ概要と進め方 ②ディスカッション ③講義(地域医療で求められる薬剤師の役割)	地域医療で求められる薬剤師の役割 ・地域包括ケアの概要と将来の予測像を理解し、退院後の生活を考慮したマネジメントを多職種で連携して行うための具体的なゴールイメージをつける ・薬剤師として地域に貢献するためのアプローチの多様さを理解できる
2	9月3日	日	13:00~16:00 オンライン	①コミュニケーションスキルの実践 ②先生の講評	コミュニケーションスキルの実践 ・医療面接における3つの役割*が理解できる *「患者理解のための情報収集」「治療への動機づけ」「信頼関係の形成」 ・「患者が欲しい情報について、患者が話しやすいように聴く手法を実践できる」 ・解釈モデルを理解し、患者との適切なコミュニケーションが図れる
3	9月17日	日	13:00~16:00 オンライン	①臨床推論「頭痛」「風邪」 ②先生の講評	臨床推論 ・臨床判断に関する、医師の思考回路の基本的な部分を理解できる ・症候診断のアセスメントについて、最終判断は医師に任せるという前提で、自分にできそうな範囲から少しやってみようという気になる
4	10月8日	日	13:00~16:00 オンライン	①臨床推論「腹痛」「動悸」 ②先生の講評	・アセスメントを対患者、対医師とのコミュニケーションに役立て、薬剤師としての臨床判断ができるようになる
5	10月14日	土	17:00~19:00 筑波会場予定	①臨床推論「胸痛」「しびれ」 ②プレゼンテーションの実践 ③先生の講評	プレゼンテーションの実践 ・プレゼンテーションスキルはチーム医療の実践必須であることが理解できる ・「医師が知りたい情報=行動するために必要な情報」の基本的な要素が理解できる ・収集した情報の取捨選択と再統合をして短時間で要点を伝えるポイントが理解できる
6	10月15日	日	9:00~13:00 筑波会場予定	①臨床推論「総合演習」 ②先生の講評	臨床推論：総合演習 ・臨床推論の考え方をベースに、実際の対話に表現することができる ・対話を通じたアセスメントの結果、医師への情報伝達方法のポイントを理解できる ・実際の薬局カウンターや病棟での患者との対話において実践的に活用するイメージがつける
7	11月5日	日	13:00~16:00 オンライン	①検査所見 ②先生の講評	検査所見 ・検査所見の解釈に関する基本的な考え方が修得できる ・検査所見の解釈を通して、疾患の病態生理が理解できる ・検査所見の解釈を通して、医師が行っている診断・治療方針の決定プロセスが理解できる
8	11月19日	日	13:00~16:00 オンライン	①臨床倫理学 実践 ②先生の講評	臨床倫理学 ・臨床の現場の倫理的な問題を認識することができる ・倫理的な問題を共有、整理、分析し、解決を試みようとするための「臨床倫理4分割法(①医学的適応、②患者の意向、③QOL、④周囲の状況)」について理解できる
9	12月3日	日	12:20~17:30 オンライン	①コンフリクトマネジメント ②先生の講評 ③事前課題進捗確認	コンフリクトマネジメント ・チーム医療における意見の葛藤や対立を「チャンス」ととらえ、双方が納得できるような合意形成を導くための方法について学ぶ
10	12月17日	日	終日 ハイブリッド	学習した内容のプレゼン、まとめ	学習した内容のプレゼン、まとめ ・Ph2030を受講して、地域で活躍できる薬剤師としての目標が明確になる ・他メンバーの発表を聴講し、各地域での薬剤師の活躍できるポイントを共有できる
*	12月18日 ~ 3月19日	自主 学習	実地	プログラム終了後の課題：受講者ごとに薬剤師業務へ活用 ・各々の地域において講座で学んだ内容の実践を継続 ・運営側が進捗確認を実施 ・受講者は毎月レポート提出(1月末、2月末)	
11	3月20日	水・ 祝	10:00~17:00 都内会場	地域貢献した内容を最終発表 ※撮影・録画としてアーカイブを作成し、 YTLの薬剤師対象のWeb情報発信サイトに掲載	
*	視聴可能期間 8月1日 ~ 3月31日	自主 学習	e-Learning	●臨床推論：各15分×7症候 腰痛/呼吸困難/体重減少/便通異常(便秘、下痢/嘔吐/浮腫/排尿障害) ●糖尿病トータルマネジメント ●ヘルスプロモーション ●健診 ●行動変容 ●患者中心の医療と多職種連携	

Ph2030プログラム 第一期生募集!



- 期間 8月27日(日)~2024年3月31日(日)
- 人数 先着12名限定
- 金額 ~~定価176,000円(税込)~~ ⇒ 初年度限定価格99,000円(税込)
※第一期生限定価格 ※10月14日(土)からの1泊の宿泊費用も含まれます(交通費は自己負担)
- 条件 原則、プログラム全日程に参加できる35歳以下の薬剤師
※条件の対象外で参加希望の方は、お問い合わせください

卒業後の3大特典

1. 薬ゼミオリジナルe-Learningが3年間無料
2. 薬剤師同士での横のつながりの形成
3. e-Learning及びプログラム内の講座
(WEB配信講座含む)が認定単位の発行対象に

お問合せ

一般社団法人薬学ゼミナール生涯学習センター 受付係
info@yakuzemi-shougai.jp

一般社団法人薬学ゼミナール生涯学習センター
HPはこちら

